



●県立高校入試における新型コロナウイルス感染症への対応について

私立高校の第2回入試や、県立高校特色選抜が終わり、残すところは県立一般選抜となりました。3年生については、志望校合格に向けた学力向上と、実力を十分に発揮するための健康管理を併せて頑張っていることと思います。

県立高校の入試について、新型コロナウイルス感染症への対応が以下のように発表されています。

◎新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン

栃木県教育委員会では、県立高校入試にあたって、高校側が共通して行う内容が公表されています。

- ・会場は原則40名までとし、1mを目安とした間隔を確保する。(別室受験は2m以上)
- ・マスクの着用を義務付け、検査室の入り口にアルコール消毒を設置する。
- ・面接の際はマスク着用の上、面接官とは2m、受検者同士は最低1mの間隔を確保する。

受検者については、発熱・咳等の症状がある場合にはその旨を申し出ることや、検査室ごとの手指消毒の実施、昼食は自席でとること等が示されています。

◎栃木県立高校入学者選抜におけるオミクロン株に対応した受検上の取扱いについて

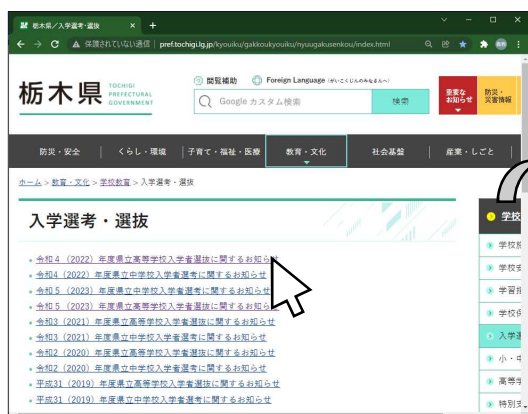
オミクロン株による感染拡大を受けて、2/2(水)までに、栃木県教育委員会より受検に対する対応について通知があり、2/4付の下野新聞にも掲載されました。

- ・受検者が濃厚接触者となった場合……PCR検査で陰性となり、無症状であれば受検が可能。
……PCR検査を受けられなくても抗原検査キット等で陰性となり無症状であれば別室での受検が可能
……抗原検査キット等が入手できない場合、無症状であることを十分確認できれば別室での受検が可能
 - ・受検者が濃厚接触者とならない場合…通常通りの受検が可能
- 一般入試直前の3/5(土)・6(日)については、「受検者が同居する家族の感染が判明した場合には、保健所による濃厚接触者の特定が行われていない状況においても、保護者から市教育委員会緊急連絡先(632-5115)に連絡する」よう、宇都宮市教育委員会より示されています。

◎「特別の選抜」について

県立高校一般選抜については、新型コロナウイルス感染症により受験が不可能となった場合、所定の手続きを行うことで「特別の選抜」を受験することができます。

詳しくは、右のQRコードから「令和4(2022)年度県立高等学校入学者選抜に関するお知らせ」のページをご覧ください。



●1年生「働く人に学ぶ」について

2/3(木)5・6校時に、職業人から仕事についての講話を聴く「働く人に学ぶ」が行われました。総合的な学習の時間では、個人用パソコンを活用して職業についての調べ学習を行いました。また、1/27(木)に事前指導を行い、担当教員や講師の確認や、質問事項等の検討が行われました。今回はオンラインでの講話となるため、Zoomの接続試験も行いました。

当日は、大工・保育士・看護師・カメラマン・パティシエ・警察官・J R貨物運転士・美容師(順不同)の8職種の講師によるリモート講演が行われました。事前の調べ学習も意欲的に行い、当日の講話では、みんな目を輝かせて、興味津々の様子でした。仕事についての高い関心や深い理解が得られた学習活動でした。